

3.県内の海外在留・移住の地域的特色

【表7】は郡市別海外在留数である。県全体で昭和期に急激に海外在留数が増加する。在留数の多い郡部は【グラフ13】のように、第1位が綾歌郡、2位が三豊郡である。その推移を見ると、県とほとんどの市・郡が1934年(昭和9年)をピークに減少する。理由は移住先のブラジルに原因があることは、後述する。

郡市別海外在留数

【表7】

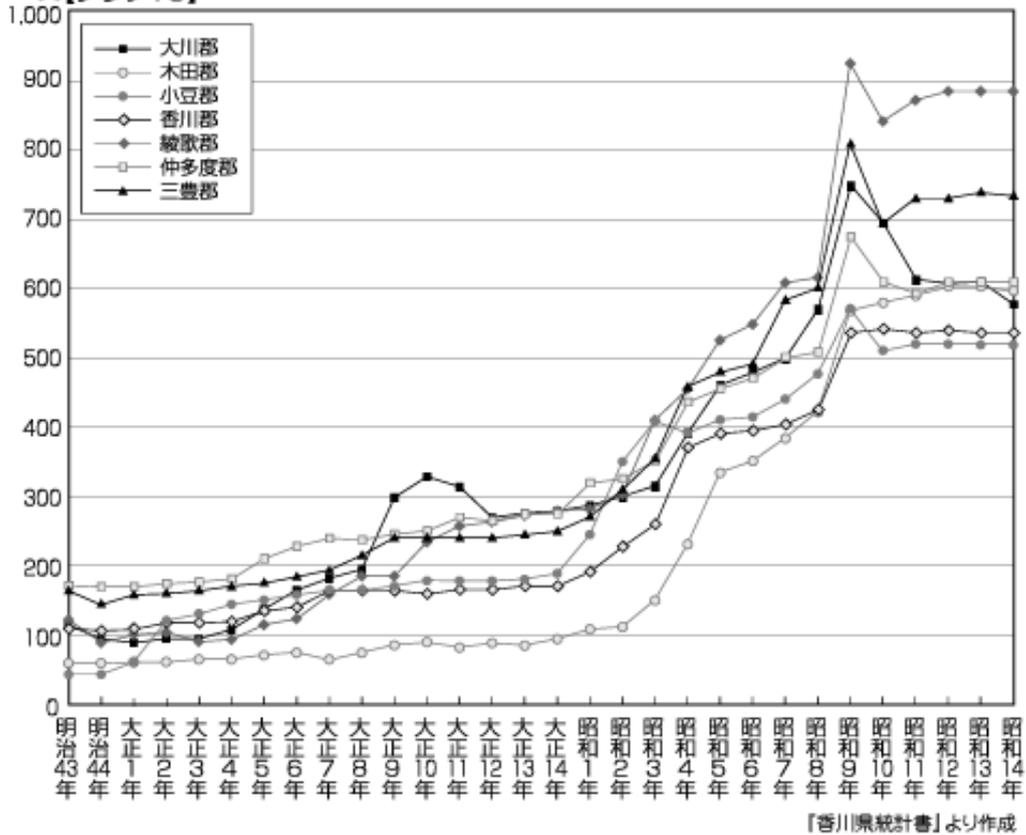
(単位:人)

	高松市	丸亀市	大川郡	木田郡	小豆郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	合計
明治43年	168	47	114	59	46	111	123	173	165	1,006
明治44年	141	45	96	59	47	107	90	171	146	902
大正 1年	144	49	89	63	61	110	101	171	157	945
大正 2年	141	48	94	63	121	117	105	174	160	1,023
大正 3年	138	50	94	66	133	116	92	178	165	1,032
大正 4年	140	50	107	66	144	119	96	191	170	1,083
大正 5年	140	51	137	71	150	134	117	212	176	1,188
大正 6年	147	50	165	74	157	140	124	228	185	1,270
大正 7年	151	54	183	66	165	165	160	240	193	1,377
大正 8年	160	55	196	75	165	164	185	237	214	1,451
大正 9年	175	58	299	86	172	164	184	246	239	1,623
大正10年	165	57	327	89	177	160	234	251	239	1,699
大正11年	157	56	314	82	176	166	257	270	239	1,717
大正12年	157	55	268	87	176	167	264	266	240	1,680
大正13年	157	54	276	84	181	171	273	275	246	1,717
大正14年	157	55	279	95	189	172	279	274	251	1,751
昭和 1年	159	55	287	108	246	192	282	319	272	1,920
昭和 2年	162	56	302	113	352	229	304	326	312	2,156
昭和 3年	171	55	316	150	407	260	411	353	355	2,478
昭和 4年	218	97	391	232	393	373	455	438	457	3,054
昭和 5年	247	104	463	335	410	391	527	456	481	3,414
昭和 6年	249	108	478	352	414	396	548	472	491	3,508
昭和 7年	285	115	500	385	441	404	609	503	584	3,826
昭和 8年	316	122	572	423	478	427	617	510	603	4,068
昭和 9年	387	167	750	567	573	537	925	675	807	5,388
昭和10年	333	155	696	581	512	543	842	610	695	4,967
昭和11年	340	164	614	593	521	537	872	595	730	4,966
昭和12年	341	164	608	604	521	540	885	609	731	5,003
昭和13年	346	164	610	602	519	537	885	610	737	5,010
昭和14年	345	164	577	599	519	538	885	609	735	4,971

【香川県統計書】より作成

郡別海外在留数

(ウ)【グラフ13】



もう少し狭い範囲での市町村別外国出寄留数を『香川県統計書』から分析してみる。データとしてあるのは1915年(大正4年)～1919年(大正8年)に限られ、在留数の多い昭和期のものがないのは残念であるが、【表8】はこの5年間の各年の外国への出寄留数の合計数を算出した。県下179市町村のうち、最も多いのが坂出町(現坂出市)、次いで雌雄島村(現高松市)、3位以下は高松市、豊浜町、和田村(現豊浜町)、広島村(現丸亀市)、高見島村(現多度津町)、小田村(現さぬき市)、丸亀市、豊島村(現土庄町)と続く。

市町村別外国出寄留合計数の多い順

【表8】

(単位:人)

市町村名	出寄留合計数	合計数順位	市郡名	島嶼部の村	大正3年人口	出寄留合計/大正3年人口
坂出町	367	1位	綾 歌		16,682	0.0220
雌雄島村	347	2位	香 川	島嶼部	1,679	0.2067
高松市	344	3位	高 松		46,633	0.0074
豊浜町	317	4位	三 豊		5,359	0.0592
和田村	299	5位	三 豊		5,284	0.0566
広島村	270	6位	仲多度	島嶼部	2,568	0.1051
高見島村	223	7位	仲多度	島嶼部	1,010	0.2208
小田村	211	8位	大 川		3,714	0.0568
丸亀市	185	9位	丸 亀		27,040	0.0068
豊島村	172	10位	小 豆	島嶼部	3,303	0.0521
福田村	167	11位	小 豆	島嶼部	2,043	0.0817
象郷村	155	12位	仲多度		2,563	0.0605
丹生村	148	13位	大 川		6,023	0.0246
多度津町	141	14位	仲多度		7,697	0.0183
普通寺町	139	15位	仲多度		14,865	0.0094
林田村	130	16位	綾 歌		5,031	0.0258
淵崎村	117	17位	小 豆	島嶼部	3,977	0.0294
松山村	115	18位	綾 歌		4,269	0.0269
草壁村	114	19位	小 豆	島嶼部	3,471	0.0328
大部村	106	20位	小 豆	島嶼部	3,189	0.0332
南 村	95	21位	仲多度		2,499	0.0380
養水村	94	22位	大 川		5,375	0.0175
坂ノ上村	92	23位	木 田		4,798	0.0192
安田村	88	24位	小 豆	島嶼部	3,546	0.0248
西庄村	87	25位	綾 歌		1,740	0.0500
粟島村	86	26位	三 豊	島嶼部	2,599	0.0331
豊原村	84	27位	仲多度		3,020	0.0278
志度町	81	28位	大 川		7,230	0.0112
湯元村	80	29位	木 田		5,651	0.0142
柞田村	80	29位	三 豊		4,709	0.0170

【香川県統計書】より作成

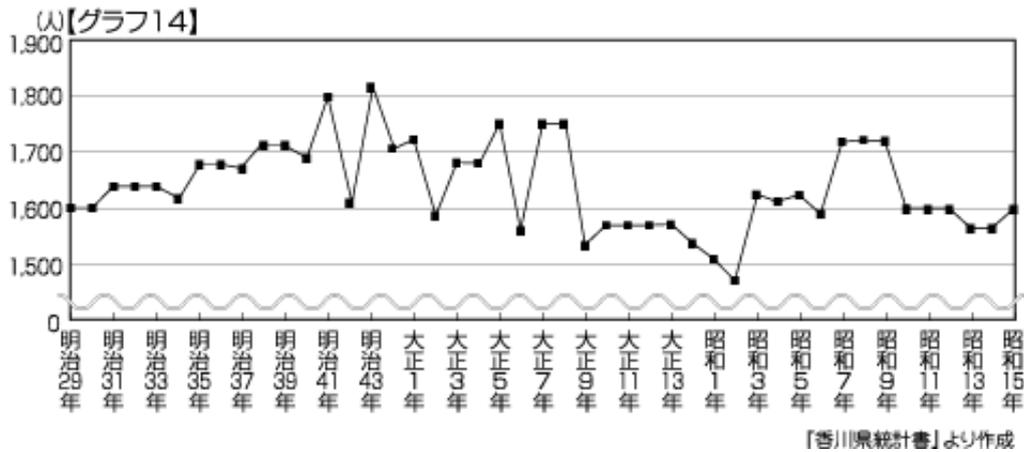
1935年(昭和10年)3月17日付『大阪朝日新聞』香川版に雌雄島村についての記載がある。それによると、「人口稠密過度の緩和策」として県では「ブラジルをはじめ北海道移民熱をかりたてているが、今回移民奨励の対象を耕地狭小の島嶼部に向ける」としている。雌雄島村の場合、女木島だけでもこの時カリフォルニアだけで70余人の島民が活躍し月々同島への送金額は3,000円を突破しているという。県では島嶼部の移民熱は不振であることを挙げ、加えて内海漁業の行き詰まりを指摘し、「島の更生は移民から」として漁、農両移民を海外へ送り出すために島の青年たちに呼びかけている。

大正期以前の移住者が継続的に昭和期に入っても移住者を勧誘(呼び寄せ)することも考えられる。その際、同一地域の者が地縁あるいは兄弟や親類という血縁から移住する場合も考えられ、同一地域に移住者が集積・集中することがある。記事にある送金等に見られるように移住送出地と移住先との関係が継続されている。

大正期に2位であった雌雄島村の外国出寄留数から考えて、大正期から、北米合衆国(アメリカ合衆国)、特にカリフォルニアへの移住が多いことが考えられる。

人口密度が高く耕地が狭いのは香川県全体についてもいえるが、島嶼部は特に地形的制約から耕地が狭小である。そこで解決のために雌雄島村のように海外移住を奨励したといえる。なお、雌雄島村の現住人口の推移は【グラフ14】のとおりである。大正期の人口減少がみられる。

雌雄島村の現住人口の推移



【表8】の上位30市町村のうち、小豆郡を主とする島嶼部の村が10村(内小豆島6)であることが注目される。なお、人口の多い市町村はそれだけ出寄留数も多くなっていくため出寄留数を人口で割った比率で比較する。1915年(大正4年)～1919年(大正8年)の出寄留数の合計を1914年(大正3年)の現住人口(出寄留前の人口)で割った比率の多い順から、県下179市町村のうち30位までは【表9】のようになる。上位4位までを島嶼部が占め、30位までに10の島嶼部の村が該当する。

市町村別外国出寄留の合計数の人口比の高い順

【表9】 (単位:人)

比率順位	市町村名	出寄留合計数	合計数順位	市郡名	島嶼部の村	大正3年人口	出寄留合計/大正3年人口
1位	高見島村	223	7位	仲多度	島嶼部	1,010	0.2208
2位	雌雄島村	347	2位	香川	島嶼部	1,679	0.2067
3位	広島村	270	6位	仲多度	島嶼部	2,568	0.1051
4位	福田村	167	11位	小豆	島嶼部	2,043	0.0817
5位	象郷村	155	12位	仲多度		2,563	0.0605
6位	豊浜町	317	4位	三豊		5,359	0.0592
7位	小田村	211	8位	大川		3,714	0.0568
8位	和田村	299	5位	三豊		5,284	0.0566
9位	豊島村	172	10位	小豆	島嶼部	3,303	0.0521
10位	西庄村	87	25位	綾歌		1,740	0.0500
11位	南村	95	21位	仲多度		2,499	0.0380
12位	大部村	106	20位	小豆	島嶼部	3,189	0.0332
13位	栗島村	86	26位	三豊	島嶼部	2,599	0.0331
14位	草壁村	114	19位	小豆	島嶼部	3,471	0.0328
15位	淵崎村	117	17位	小豆	島嶼部	3,977	0.0294
16位	豊原村	84	27位	仲多度		3,020	0.0278
17位	松山村	115	18位	綾歌		4,269	0.0269
18位	林田村	130	16位	綾歌		5,031	0.0258
19位	安田村	88	24位	小豆	島嶼部	3,546	0.0248
20位	丹生村	148	13位	大川		6,023	0.0246
21位	坂出町	367	1位	綾歌		16,682	0.0220
22位	坂ノ上村	92	23位	木田		4,798	0.0192
23位	多度津町	141	14位	仲多度		7,697	0.0183
24位	鶯水村	94	22位	大川		5,375	0.0175
25位	柞田村	80	29位	三豊		4,709	0.0170
26位	瀧元村	80	29位	木田		5,651	0.0142
27位	志度町	81	28位	大川		7,230	0.0112
28位	善通寺町	139	15位	仲多度		14,865	0.0094
29位	高松市	344	3位	高松		46,633	0.0074
30位	丸亀市	185	9位	丸亀		27,040	0.0068

【香川県統計書】より作成

出寄留合計数が多かつ人口比が高い、ともに10位までに位置するのは、雌雄島村、高見島村、広島村、豊浜町、和田村、豊島村、小田村である。この場合でも島嶼部が過半を占める。

なお、同一方法でデータのある大正4～8年の朝鮮への出寄留の比率、他府県への出寄留の比率をそれぞれ上位30位まで算出し、【表10】のようにこれと比較してみた。

朝鮮出寄留での比率第1位は小田村(現さぬき市)で朝鮮への漁業移住が多かった。この小田村の外国出寄留比率は7位であった。朝鮮出寄留比率2位の佐柳島村は外国出寄留比率1位の高見島村の隣村(ともに現多度津町)であるが、高見島村は30位までに朝鮮出寄留がない、逆に佐柳島村は外国への出寄留がなく両村の特色が違っている。外国出寄留比率第2位の雌雄島村は朝鮮への出寄留がない。外国出寄留の比率、朝鮮出寄留の比率がともに10位以内のものは小田村のほか、広島村、豊浜町、和田村、豊島村である。さらに、他府県出寄留の比率を併せると、このすべてに共通するのは豊浜町、豊島村の2町村となる。『新修豊浜町誌』(1995年・平成7年)には多方面への移住についての記載がある。他府県出寄留比率第1位の本島村と外国、朝鮮への出寄留比率がそれぞれ3位、6位の広島村(ともに現丸亀市)は隣接する。この両村の特色がこれも違っている。

30位まででみた時に外国出寄留比率は小豆島の村々が多いのに対して、朝鮮出寄留比率は該当がなく、他府県出寄留比率も12位の淵崎村のみで、外国出寄留比率が高いが他は低いという小豆島各村の地域的な特色がある。小豆島に隣接する同じ小豆郡の豊島村は外国、朝鮮、他府県すべてにおいて比率が高い。豊島村の人口推移は【グラフ15】のとおりで、特に大正期に人口減少がみられる。

ちなみに、小豆郡の北海道移住はごく少ない。小豆島をはじめ、本島のある塩飽諸島など瀬戸内の島々は阪神方面との地理的、経済的な結びつきが強く、この方面への出稼ぎ、移住が多い。

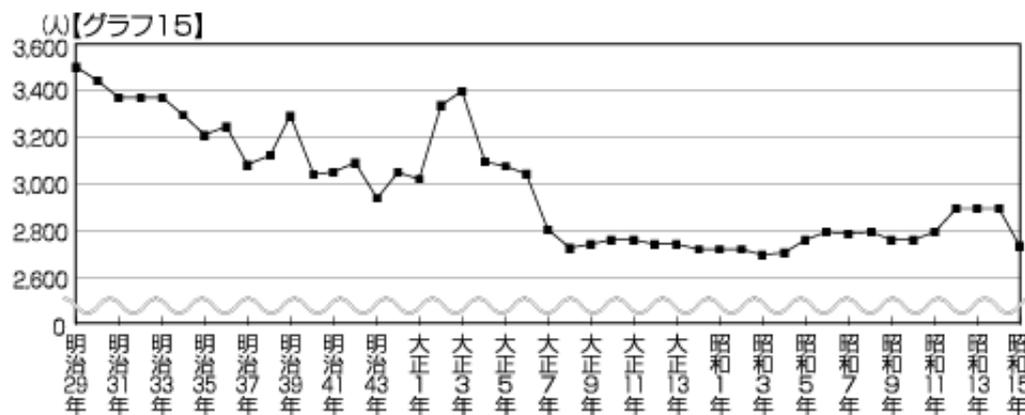
市町村別人口に対する出寄留比率比較

【表10】

	外国	朝鮮	他府県		外国	朝鮮	他府県
1位	高見島村	小田村	本島村	16位	豊原村	豊原村	常盤村
2位	雌雄島村	佐柳島村	豊浜町	17位	松山村	常盤村	引田町
3位	広島村	桑山村	榎井村	18位	林田村	龍川村	広島村
4位	福田村	豊浜町	豊島村	19位	安田村	山内村	龍川村
5位	象郷村	豊島村	鶴羽村	20位	丹生村	本島村	白鳥村
6位	豊浜町	広島村	相生村	21位	坂出町	松山村	四箇村
7位	小田村	和田村	高見島村	22位	坂ノ上村	仏生山村	紀伊村
8位	和田村	津田町	高松市	23位	多度津町	志度町	志度町
9位	豊島村	鶴羽村	多度津町	24位	譽水村	林田村	大野原村
10位	西庄村	加茂村	奥鹿村	25位	柞田村	坂出町	一ノ谷村
11位	南村	鴨庄村	中姫村	26位	濁元村	多度津町	西庄村
12位	大部村	上笠居村	淵崎村	27位	志度町	普通寺町	郡家村
13位	粟島村	財田村	鴨部村	28位	普通寺町	仁尾村	前田村
14位	草壁村	大野原村	柞田村	29位	高松市	丸亀市	豊原村
15位	淵崎村	与北村	琴平町	30位	丸亀市	観音寺市	栗林村

【香川県統計書】より作成

豊島村の現住人口の推移



【香川県統計書】より作成

